

## 事前評価個表

整理番号	25
------	----

地域（地区）名	おおすみ 大隅	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	かのやし 鹿屋市ほか8市町
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、本県東部の<sup>おおすみ</sup>大隅半島の最南端から北部にかけて位置し、西部は<sup>おおのがらだけ</sup>大籠柄岳を主峰とする高隈山系が連なり、中央部には肝属平野が広がっている。また、南東部には国見岳を主峰とする国見山系が連なっており、これらの山岳を源として多くの河川が、太平洋や鹿児島湾に注いでいる。</p> <p>本地区の総面積210千haのうち、森林面積は132千ha（森林率63%）、うち民有林は84千ha（森林面積の63%）となっている。また、民有林の人工林面積は、51千ha（人工林率60%）と県平均46%と比べて高く、県内でも早くからスギを主体とする人工林化が進められ地区であり、Ⅶ齢級以上の利用期を迎えた森林が89%を占めている。</p> <p>本地区の充実した森林資源を背景に、C L T工法、2×4住宅部材等の新たな需要の創出や、東アジア地域への木材輸出が増加してきており、搬出間伐や主伐が急速に増えている。</p> <p>このため、間伐の着実な実施や主伐後の確実な再造林により「植える、育てる、使う、植える」というサイクルの中で、持続的に森林資源を循環利用し、森林の多面的機能を発揮させることが課題となっている。</p> <p>本事業では、間伐材の利用促進と森林の持つ多面的機能の維持増進を図るため、非公共事業等との連携を図りつつ、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：8,407ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,486,130千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.43 (総便益(B) = 17,528,714千円、総費用(C) = 3,961,127千円)</p>
評価結果	<p>必要性：国土保全や水源<sup>かんよう</sup>涵養等の公益的機能の持続的発揮や、木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果の結果から、十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の状況及び社会的要請等を踏まえた計画となっており、有効性が認められる。</p>

整理番号

25

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

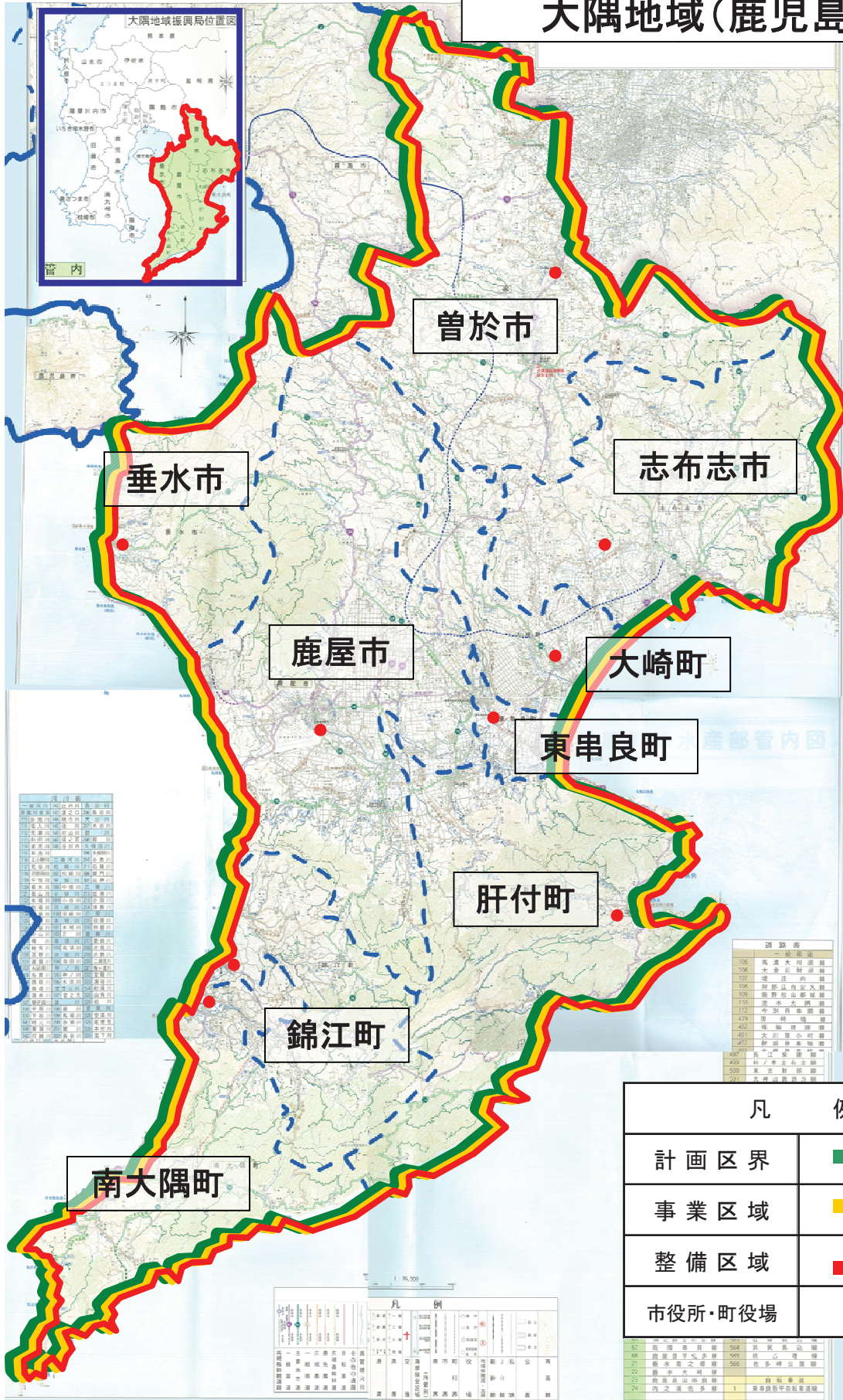
都道府県名: 鹿児島県

地域(地区)名: 大隅<sup>おおすみ</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	4,902,240	
	流域貯水便益	1,657,079	
	水質浄化便益	3,522,697	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,400,171	
環境保全便益	炭素固定便益	1,699,897	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,346,630	
総 便 益 (B)		17,528,714	
総 費 用 (C)		3,961,127	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,528,714}{3,961,127} = 4.43$		

# 森林環境保全整備事業計画 大隅地域(鹿児島県)



凡 例	
計画区界	
事業区域	
整備区域	
市役所・町役場	

行政区	市町村	面積	人口
大隅管内	志布志市	564	100,000
	曾於市	565	100,000
	鹿屋市	566	100,000
	大崎町	567	100,000
	東串良町	568	100,000
	肝付町	569	100,000
	錦江町	570	100,000
	南大隅町	571	100,000
	垂水市	572	100,000
	大隅管内	573	100,000